

(11)



実用新案登録願(1)

(1,500円)

昭和46年2月15日

特許庁長官 佐々木 学 殿

1. 考案の名称 オーバーフローデイツフ槽

2. 考案 住 所 千葉県船橋市牛久町大字田原字
氏 名 栗 崎 三 郎

3. 実用新案登録出願人 7160

住 所 東京都新宿区須賀町9番地5号
氏 名 株式会社 弘 泰
(代表) 大崎 繁 泰 恒 夫

4. 代 理 人 7103

住 所 東京都中央区日本橋通2丁目2番地
氏 名 (2367) 弁理士 丹 生 藤 吉

5. 添付書類の目録

(ほか3名)

1. 明 細 書	1 通
2. 図 面	1 通
3. 委 任 状	1 通
4. 願 出 願 書	1 通
5. 出 願 書 請 求 書	1 通

47-0024-01

公開実用 昭和47-6024

明 細 書

1. 考案の名称 オーバーフローデイツブ槽

2. 実用新案登録請求の範囲

外槽と、この外槽内に装着した内槽を有し、一方の外槽にはヒーターを内装しさらにモータで駆動されるポンプを内部に設けたポンプハウジングを配装し、このポンプをもつポンプハウジングは、前記した内槽内と導管を介して連絡させ内槽の上縁で半田をオーバーフロさせてなるオーバーフローデイツブ槽。

4. 考案の詳細な説明

この考案はデイツブ槽の改良に係るものである。

従来のデイツブ槽は一槽式のため、半田付けの際半田槽接面に発生した酸化物を除去してから半田付け作業を行なわなければならない。また短時間の場合でも表面は薄い酸化膜ができるので作業は非能率的である。更に半田付使用面積が半田槽

(1)

47-6024-02

BEST AVAILABLE COPY

面積より相當減少する欠点がある。

この考案は前記従来の欠陥を除去したものであつて、半田槽は二槽からなり、内槽の表面に発生した酸化物はオーバーフローして外槽に流れ落ち、内槽表面は常に清浄な半田面を保持し、更に半田槽の液面表面張力による浮上りで表面槽一杯に使用でき、作業の向上を計ることを目的としたものである。

以下この考案に係る、オーバーフローディップ槽の一実施例を図面について説明する。

1 は半田槽の外槽で、該外槽1 は、第2図に示すように内部の両側にヒータ2, 2 を配装し、さらにスクリーンプンプ3 を内装したポンプハウジング4 を外槽1 に取付けた支持片5 によつて縦設してある。

また外槽1 には内槽6 を槽内に装着してある。

(10)

47-6024-03

BEST AVAILABLE COPY

この内槽6の上縁6'は外槽1の上縁1'より僅かに突出して取付けられ、しかも内槽6内には、一端を前記ポンプハウジング8に連絡させ、他端の下面に多数の流出孔7を穿つた半田流動導管8を位置して、外槽1内の半田をポンプ3を介して吸込み導管8を経て流出孔7から内槽6内に流動させる。

前記ポンプハウジング8は、内部に回転軸9を縦設すると共に導管8と連絡する部分の上部に仕切板10を設けてあり、さらにハウジング8の上部には前記回転軸9を支持する軸受11を、外槽1に取付けた取付板12によつて支持させ、この軸9の上端は、プーリ13を取付けてモータ14からのプーリ15とベルト16で連絡させてある。

又、軸9の下部には、前記したようにハウジング8内でスクリーンプンプ3としてある。

(3)

47-6024-04

BEST AVAILABLE COPY

この考案は、前記した構成で、外槽 / 内の半田は、モータ¹⁴の駆動でポンプ³で吸込まれハウジング⁶内を吸込まれた半田を導管⁸を通して流出孔⁹から内槽⁵内に入れる。この内槽⁵内に流出した半田は内槽⁵の上縁⁶からオーバーフローし、半田面上にできる酸化膜は、外槽 / 内に流動し常に内槽⁵の半田面は半田付できる状態にすることができ、従つてこの半田を繰返して循環して使用するものである。

上述のようにこの考案によるオーバーフローデイツブ槽は外槽¹と内槽⁵を設け、さらに外槽¹と内槽⁵をスクリューポンプ等のポンプ³を介して連絡して外槽¹内の半田をポンプ³で内槽⁵内の下部から流出させ、更に内槽⁵の上縁から外槽¹内に溢出させるようになつていたので、常に内槽の上部半田面は酸化物が堆積することがないの

(4)

47-6024-05

BEST AVAILABLE COPY

公開実用 昭和47-6024

で、従来のように半田付時に振動く煩さがない。
更に半田面は振面張力で浮き上がっているので、
内槽上面全部の面積で半田付できるので作業を向
上させることができる特徴がある。

※ 図面の簡単な説明

図面はこの考案に係るオーバーフロタイプ槽
の一実施例を示すもので、第1図は縦断正面図、
第2図は平面図、第3図は第1図A-A'線の断面
図である。

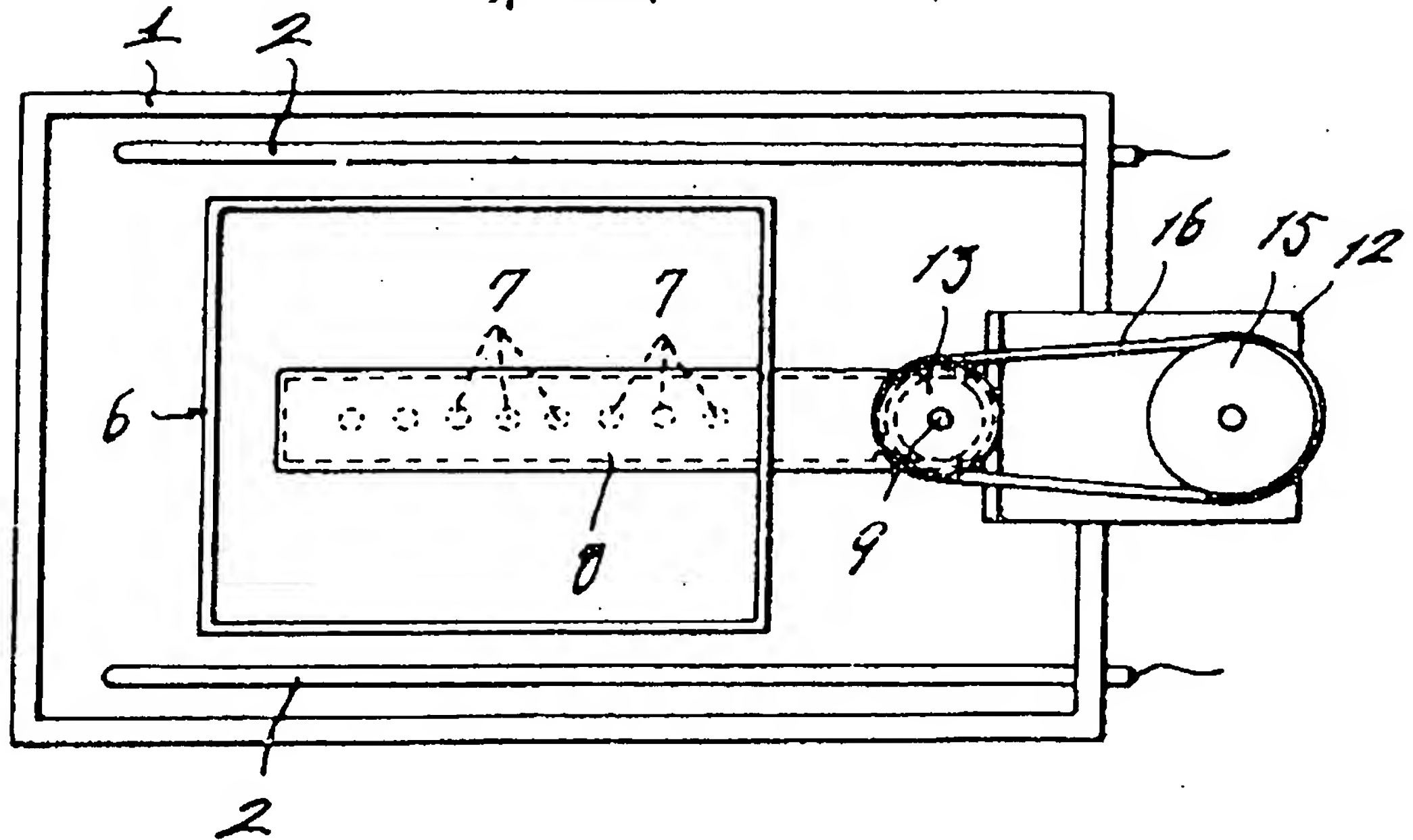
1…外槽、2…ヒータ、3…スクリーンプ、
4…ポンプハウジング、5…内槽、7…流出孔、
8…流動導管、

実用新案登録出願人 株式会社 弘 輝

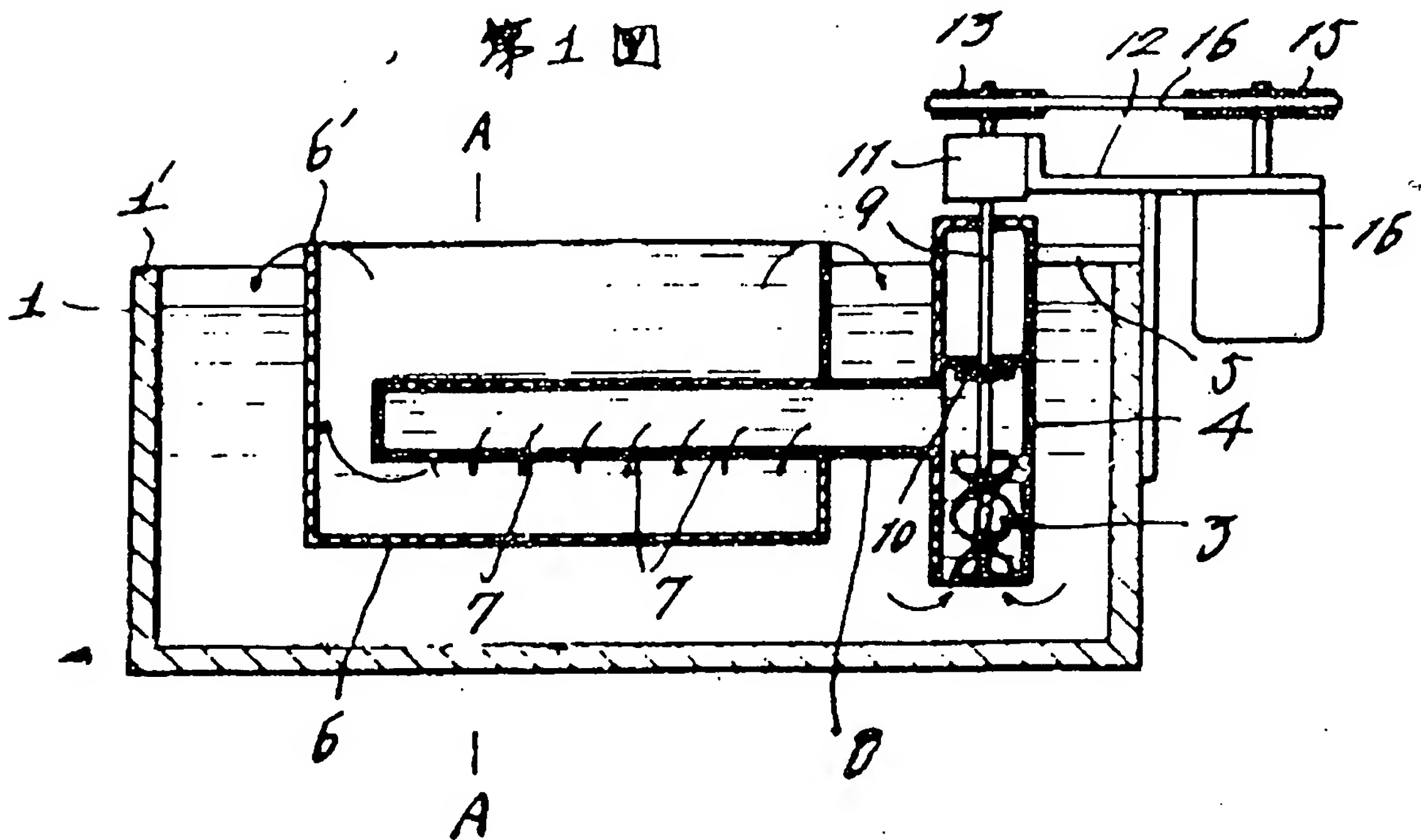
代 理 人 丹 生 藤 吉

同 安 藤 政 一

第2図



第1図

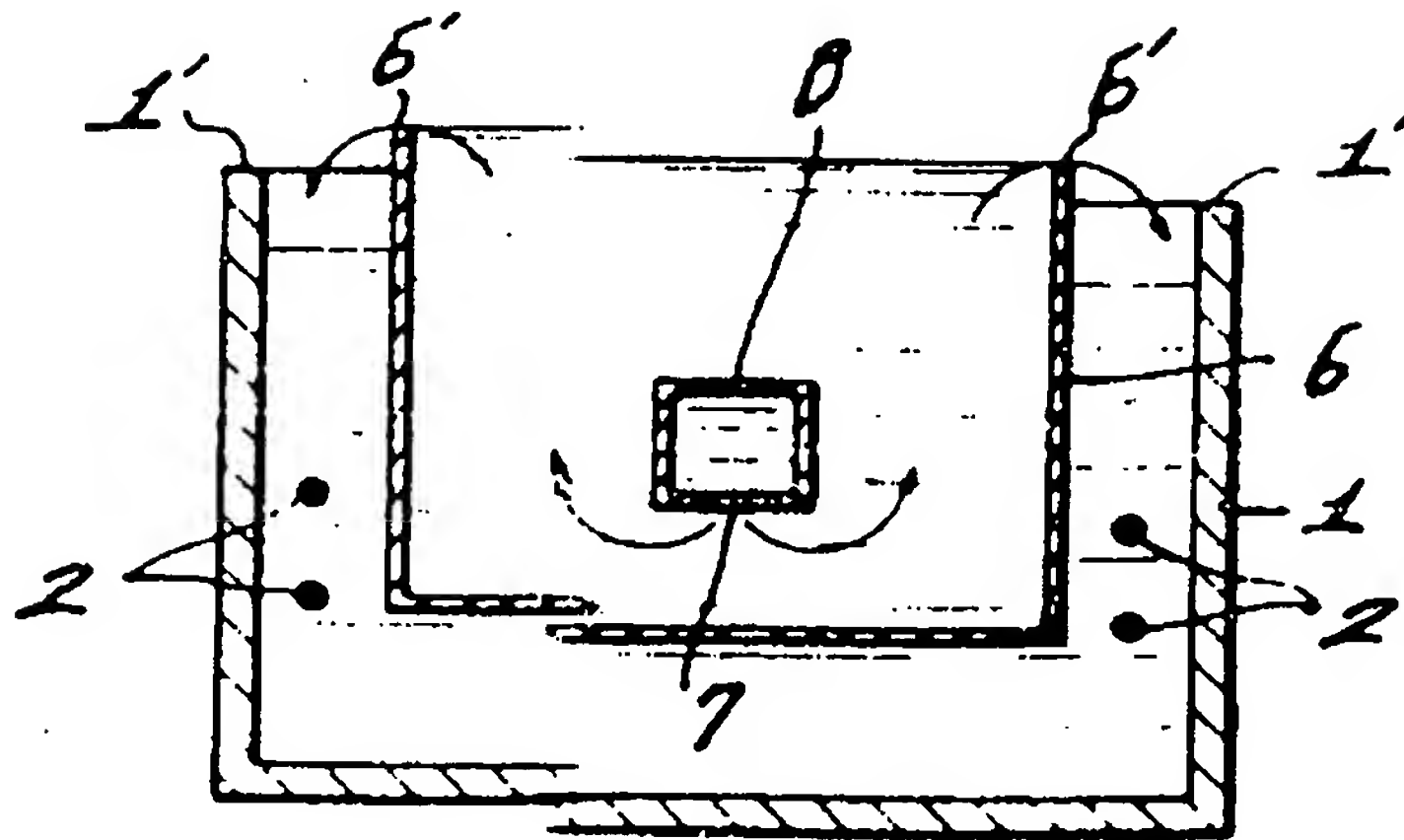


實用新案 特許合、計、弘、機

47-6024-C7

BEST AVAILABLE COPY

第3図



輝 弘 社 有 限 公 司
 出 版 人 林 式 会 社 弘 輝
 一 一 一 一 一 一 一 一

47-6024-08

BEST AVAILABLE COPY

前記以外の

出願人

又は代理人

(1)

(1)

出願人

〒□□□-□

代理人

東京都中央区日本橋通2丁目2番地

(2297) 弁理士 安 藤 政

市
(5923) 弁理士 上 橋 秀 夫

所
(7419) 弁理士 江 藤 剛

電話 (27) 3751 番(代表)

47-6024-09